平成30年8月10日

宗像市総合計画等推進委員会

参考資料1

平成２９年度 事務事業評価（案）

（事務事業マネジメントシート、事務事業管理シート）

生涯を通した学習の振興　・・・・　1

情報化の推進・情報の適正管理　・・・・　4

宗　像　市

事務事業の概要

事務事業名	市民文化芸術活動推進事業			予算事業番号	13015
所管名	市民協働環境部文化スポーツ課市民文化係			所管番号	321101
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ～ H 年度	終了見込有無	無
根拠法令等					

第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	生涯を通した学習の振興	区分	文化芸術活動の充実
	施策の方向性	生涯学習活動や文化芸術活動を通して、さまざまな分野を学んだり、鑑賞できる機会を創出するとともに、学んだ成果を広くまちづくりに活かす仕組みの構築や市民図書館を誰もが身近に感じることができるよう、充実を図り、市民一人ひとりの生きがいにつなげていきます。				

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市民	が	文化芸術の鑑賞・体験や発表の機会が確保され、文化芸術活動が活発に行われている。文化芸術活動を通じて本市への郷土愛を形成する。

H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容	文化協会の事業補助と事務局支援、ユリックスを中心とした文化芸術活動の推進、文化芸術補助金助成、伝統文化次世代継承事業、「大きなクスの木の下で」美術館展(中村研一没50年記念展)、音楽があふれるまちづくり事業(ミアーレ音楽祭、レストランコンサート)、福岡女子大学との連携事業(障がい者とアート)

	指標名	指標の説明・算定式	単位	実績 H27年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H31年度
成果指標	芸術祭等の入場者数	芸術祭、吹奏楽祭、文化祭、こども芸術祭	人	9,080	8,280	8,249	12,000
成果指標	文化芸術活動事業補助金の活用件数		件	5	4	2	10
活動指標	文化協会との連携	会議開催数	回	20	22	16	
活動指標							

	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	前年度比
事業費(千円)	15,570	15,984	15,863	▲ 121
特定財源(千円)	13,879	0	0	0
一般財源(千円)	3,719	15,984	15,863	▲ 121

H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析			施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較		指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	成果指標である芸術祭等の入場者数は、微減であった。また、文化芸術活動事業補助金の活用件数は、新制度に移行したことに伴い、認知度が低かったことから、2件にとどまった。	芸術祭等の文化事業は、市民に文化芸術の発表機会を提供するとともに、鑑賞の機会の提供につながった。 新補助制度については、市外からの団体の活用が1件であったが、次年度へつながる内容ではあった。	新補助制度の活用件数を伸ばすため、SNS等を活用し、さらなる周知を図る。
活動指標	↓			
事業費	↓			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進	「大きなクスの木の下で」美術館展や4大文化事業等、文化芸術団体やユリックスと実行委員会を組織し、協働して事業を推進する。	文化協会、宗像ユリックス等と連携し、例年どおり、ミアーレ音楽祭や美術展、芸術祭等を開催した。
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	アウトリーチ事業を引き続き継続することで、「音楽があふれるまち・宗像」のイメージを向上させるとともに、福祉や子育て等の分野で、文化芸術の力を使って地域の課題を解決する。	保育所・幼稚園、小・中学校、コミュニティ・センター、福祉施設などで行うアウトリーチ事業は85回開催した(参加者数;9,769人)。 福岡女子大学と連携し、「障がい者とアート」をテーマとした調査研究事業に着手した。

事務事業の概要

事務事業名	市民図書館事業			予算事業番号	47001
所管名	教育子ども部図書課図書館係			所管番号	430603
事務区分	その他事務	事業期間	H　年度 ～ H　年度	終了見込有無	無
根拠法令等	図書館法、宗像市民図書館条例				
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	生涯を通した学習の振興	区分	市民に身近な図書館づくり
	施策の方向性	生涯学習活動や文化芸術活動を通して、さまざまな分野を学んだり、鑑賞できる機会を創出するとともに、学んだ成果を広くまちづくりに活かす仕組みの構築や市民図書館を誰もが身近に感じることができるよう、充実を図り、市民一人ひとりの生きがいにつなげていきます。				

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	利用者	が	多様な読書や調査研究など、生涯学習へのニーズが満たせる環境が整備される状態

H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容	・宗像市読書のまちづくり推進計画に沿って、適正な管理運営を行い、各種事業を展開した。・中央館閲覧椅子の張り替えを行い、利用者サービスの向上と環境整備を行った。・図書館振興財団の助成金により、中央館2階の調べ学習支援コーナーの資料を充実するとともに、インターネット接続可能なパソコンを設置し情報視聴コーナーを整備した。・図書返却ポストをサンリブ宗像に設置し利便性の向上を図った。・「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」に関する紙芝居の原稿を委託した。・理科読を推進するため、理科読ボランティア養成講座を開催し、団体が発足した。・図書館の新たなボランティアとして、本の補修ボランティア養成講座を開催した。

	指標名	指標の説明・算定式	単位	実績 H27年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H31年度
成果指標	講座・イベント等参加者数		人	9,974	8,883	11,727	10,000
成果指標	利用者の満足度	図書館サービスに満足している人の割合	%	72	75	75	80
活動指標	講座・イベント等実施回数		回	259	241	241	
活動指標							

	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	前年度比
事業費(千円)	75,706	82,094	87,159	5,065
特定財源(千円)	252	226	3,585	3,359
一般財源(千円)	75,454	81,868	83,574	1,706

H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析 前年度との比較		指標と事業費の分析 指標と事業費の主な変動要因	施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
成果指標	↑	成果指標である講座・イベント等参加者数は、ボランティアと協働した新規イベントの実施によって目標を達成した。図書館振興財団の助成事業等により、事業費は増額となった。	協働によるイベントの実施は、ボランティア活動の充実といった成果があり、施策の方向性である「市民一人ひとりの生きがい」に繋がった。 図書館振興財団の助成事業の取組みにより、情報視聴コーナーの整備や調べ学習支援コーナーの充実を図ることができた。	利用者の満足度を向上させるためには、図書館サービスの周知が必要である。そのため、今後はきめ細かな情報発信に取り組んでいく。
活動指標	→			
事業費	↑			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進	おはなし会やブックスタートをボランティアと協働で開催、河東地区コミュニティ運営協議会と連携して講演会を開催	おはなし会やブックスタート、理科読をボランティアと協働で開催した。河東地区コミュニティ運営協議会と連携して講演会2回と本の交換会を実施した。
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
	乳幼児や小中学生を対象とした、おはなし会や夏休み企画を実施	乳幼児を対象とした、おはなし会を実施した。小中学生を対象とした夏休み企画「夜の図書館で読もう」を開催した。

施策名：生涯を通した学習の振興（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費（千円）		
					指標名	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向
1	生涯学習推進事業	コミュニティ協働推進課 政策係	学びたい市民が、自由に学びたいことを学び、また学んだことを活かしながら、やりがい・生きがいを持って活動している。	ルックルック講座、市民学習ネットワーク事業の実施により、市民の学習機会の提供を行う。	ルックルック講座登録講座数	講座	158	155	↓	5,617	5,574	↓
2	陶芸施設管理運営事業	コミュニティ協働推進課 政策係	市民活動団体が、市民活動団体の活動を推進する。	陶芸施設の貸館業務及び施設管理業務を行う。	管理者との協議回数	回	12	12	→	1,468	1,437	↓
3	公民館支援事業	コミュニティ協働推進課 コミュニティ係	自治公民館新築等への補助、自治公民館用地の草刈業務により自治公民館の整備・活動の促進を図り、市民活動や学習の推進及び活性化に寄与する。	補助要綱に基づき、申請に対して補助金を交付する。3箇所の自治公民館用地の草刈を年2回行う。	申請件数に対する実施率	%	100	100	→	8,225	15,712	↑
4	宗像ユリックス施設管理運営事業	文化スポーツ課 市民文化係	市民や宗像ユリックス利用者が、文化・スポーツレクリエーション・健康づくりの拠点として、安全かつ快適に宗像ユリックスを利用できる	連携会議を毎月開催し、指定管理者との連携を強化する。文化芸術のまちづくり10年ビジョンの具現化に向けて各種事業を展開し、連携協力を図る。第2次保全改修計画に基づいた施設改修を行う。	文化事業入場者数	人	53,024	50,037	↓	515,216	502,226	↓

事務事業の概要

事務事業名	地域情報化事業			予算事業番号	10001
所管名	総務部総務課情報化推進係			所管番号	300103
事務区分	その他事務	事業期間	H　年度 ～ H　年度	終了見込有無	
根拠法令等					
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	情報化の推進・情報の適正管理	区分	情報化の推進
	施策の方向性	行政や地域の中でICTを活用し、行政事務の効率化、市民の利便性の向上を図っていきます。 また、市が保有している情報は、開かれた行政経営のため、積極的に公開していきます。 一方で、市民の個人情報については、漏えい防止や保護に努めていきます。				

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	職員、または市民と	が	市の情報化を政策的に推進し、行政事務サービスと地域情報サービスの向上を目指します。

H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容	・第4次情報化計画(平成27年度～平成29年度)の進捗管理、及び3年間の情報化推進の総括を行った。また、今後の情報化計画の位置づけや情報化推進会議や委員会の役割整理を行った。・市民の利便性向上及び事務の効率化のため、関係部署に電子申請利活用の啓発をおこない電子申請手続き数を増やした。・公衆無線LANについて、新たに世界遺産関連で追加整備する業務を円滑に進めるよう支援した。また、施設所管部署と連携しイベントの案内チラシや広報紙等にて利用案内を行うなど、平時の利用を促進した。・福岡県自治体情報セキュリティ対策協議会のセキュリティクラウドに参加し、インターネット環境のセキュリティ強化を行った。・セキュリティ監査等による注意喚起をおこないながら情報セキュリティの強化を図った。・平成32年度に予定している住民情報システム更新作業について、円滑に進むよう支援業務を委託した。

	指標名	指標の説明・算定式	単位	実績 H27年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H31年度
成果指標	電子申請による申請数	図書貸出、eLTAX、施設予約、各種イベント等、職員採用試験	件	98,796	133,370	111,050	85,000
成果指標	障害の発生件数	業務が一時停止する障害件数	回	1	1	0	0
活動指標	電子申請実施事業数	電子申請を実施した事業数	件	8	11	5	
活動指標	アクセス通信回数	インターネットアクセス件数(ビジター数)	万件/年	256	290	350	

	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	前年度比
事業費(千円)	39,999	43,774	61,093	17,319
特定財源(千円)	0	0	0	0
一般財源(千円)	39,999	43,774	61,093	17,319

H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析			施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較		指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	活動指数である電子申請の事業数は、事業数のカウント方法を見直したため減少したが、実態は変わっていない。成果指標である障害の発生件数はゼロであった。	電子申請の事業数及び件数の集計方法を変更したため、昨年度より減っているが、実態はほぼ横ばいである。なお、番号制度に関係する電子申請の準備作業を通年で行っており、次年度に向けて電子申請の利用促進を行う	電子申請の事業数を向上させるためには、番号制度関連分野での電子申請の活用が必要である。そのため、今後は関連部署に働きかけを行っていく。
活動指標	↑			
事業費	↑			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進	市民委員で構成された情報化推進会議にて、協働で宗像市の情報化計画の策定を行います。	7月と2月に情報化推進会議を開催し、情報化計画に関する意見交換を行いました。
都市ブランドの推進	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	個人番号制度情報化推進事業			予算事業番号	10016
所管名	総務部総務課情報化推進係			所管番号	300103
事務区分		事業期間	H 26 年度 ～ H 年度	終了見込有無	
根拠法令等	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号に利用等に関する法律				
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	情報化の推進・情報の適正管理	区分	情報化の推進
	施策の方向性	行政や地域の中でICTを活用し、行政事務の効率化、市民の利便性の向上を図っていきます。 また、市が保有している情報は、開かれた行政経営のため、積極的に公開していきます。 一方で、市民の個人情報については、漏えい防止や保護に努めていきます。				

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	個人番号制度に関係する行政組織	が	個人番号制度の導入により、窓口での事務処理を簡素化し、住民サービスを向上させる。また、各機関間で情報を共有し、社会保障や税の公平・公正化を進める。

H29年度の事務事業の内容

H29年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H29年度の活動内容	・国民自身における個人情報のやり取りを確認することができるマイナポータル(情報提供等記録開示システム)と住民情報システムとの連携に向けたシステム改修 ・マイナンバー制度に係るシステムの機器・運用保守 ・平成28年度に引き続き、平成29年7月の他機関との連携開始に向けた運用テストを円滑に行った。 ・市民へのマイナンバー制度等周知啓発(広報活動)

	指標名	指標の説明・算定式	単位	実績 H27年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H31年度
成果指標	個人番号カード発行枚数	平成28年1月以降個人番号カードを発行した枚数	枚	0	0	10,299	20,000
成果指標	障害発生件数	システム障害発生件数	件	0	0	1	0
活動指標	委員会、部会等実施件数	委員会、部会及び関係部署との打ち合わせ実施件数	件	28	2	0	
活動指標	情報発信回数	チラシ、市広報紙、HPやFBにて個人番号制度情報を発信した回数	回	39	4	0	

	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	前年度比
事業費(千円)	106,439	17,287	15,472	▲ 1,815
特定財源(千円)	55,353	8,610	8,928	318
一般財源(千円)	51,086	8,677	6,544	▲ 2,133

H29年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析			施策に対する成果の分析(本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性(成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較		指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	活動指標である障害発生件数は、他自治体とのシステム連携に関するものが1件あった。活動指標である委員会、部会等実施件数は0で、導入委員会及び部会は年度内に活動を終了した。	マイナンバーを利用した他自治体とのデータ連携を開始した。	市民への個人番号制度の周知は一定以上進んだと考えられる。、今後は、マイナポータルや子育てワンストップ活用について、関連部署に働きかけを行っていく。
活動指標	↓			
事業費	↓			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
協働の推進		
	H29年度の取組内容	H29年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進		

施策名：情報化の推進・情報の適正管理（事務事業管理シート）

No.	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標					事業費（千円）		
					指標名	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向	平成28年度実績	平成29年度実績	傾向
1	電子計算事業	総務課 情報化推進係	各種システムを利用する行政組織が、より正確・迅速・安定的に行政事務を行えるようにする。	・住民情報システムによる住民情報系業務（住民記録・各種税等）の管理・運用及び、その他のシステム（後期高齢者システム・住基ネット等）の管理・運用を行う。 ・原票管理システムの機器更新を実施する。	システム管理数（基）	基	7	7	→	122,245	125,714	↑
2	庁内ネットワーク管理運営事業	総務課 情報化推進係	職員が、市民が望む行政サービスを適切かつ安定して提供する。また、ICTレベル及び情報セキュリティレベルが向上することを目指す。	・庁内パソコン（Windows7端末の追加調達）・ネットワーク機器の運用管理・システムの導入支援・老朽化したブレードサーバ（財務会計システム・文書管理システム・契約管理システム、グループウェア等）の機器更新・職員の情報セキュリティに関する実態を把握する・eラーニングを活用し、全職員に対しセキュリティ研修を実施する・セキュリティ内部監査を行い、職員のセキュリティ意識を向上に繋げる。	システム導入件数（件）	件	4	2	↓	105,493	75,826	↓
3	情報公開･個人情報保護事業	総務課 行政係	市が保有する情報、個人情報及び特定個人情報を各条例に基づき適切に保護しながら、その公開を求める市民に対して、各条例に基づき適切に公開されることで、行政の説明責任を果たすことにより、市民が行政の透明性を感じ、市行政への信頼性を高める。	情報公開や個人情報・特定個人情報に対する公開・開示請求があった場合は、条例等の基準に基づいた公開方法等を決定する。	決定件数	件	情報公開57件、個人情報開示15	情報公開69件、個人情報開示5件	↑	106	106	→
4	指定統計調査事業	経営企画課 行政改革係	市（県、国）が、調査対象者に対して、法律・政令に基づき、統計調査を正確、適切に実施する。	・統計法に基づき、国や地方自治体の政策運営に活かすため、社会や経済の動向を把握するために重要な統計を実施する。（主には国勢調査、労働力調査、就業構造基本調査、経済センサス、工業統計調査、商業統計、農林業センサス、漁業センサス、全国物価統計調査。） ・市の統計調査員として登録している人、もしくは登録を希望する人に、統計調査の意義や必要性を理解してもらうとともに、資質向上のための研修会を開催して調査員に必要な人材を確保する。	指定統計調査実施件数	件	1	2	↑	3,015	1,718	↓
5	統計一般事務	経営企画課 行政改革係	統計データを必要とする市民、職員が、市統計書、各種統計データの提供を受ける。	市統計書を作成し、ホームページを通して公表する。	市統計書発行回数	回	1	1	→	20	21	↑